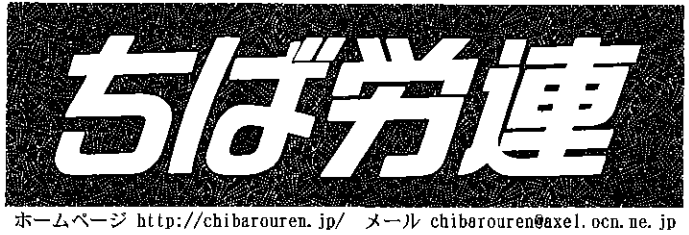


第 30 回定期大会

日時：9 月 2 日(日)9:30～
場所：千葉県教育会館



ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール chibarouren@axel.ocn.ne.jp

第 321 号 URL 版 2018 年 8 月 31 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1 面】

学んだ事を伝えていきたい 原水禁世界大会2018

広島と長崎への原爆投下から 73 年目の夏を迎えます。『核兵器のない平和で公正な世界のために』をテーマに、原水爆禁止 2018 年世界大会が 8 月 4～6 日に広島、8～9 日に長崎で開催され、千葉県からは 115 人が参加しました。各組織初参加の人が多く、核廃絶運動の歴史や被爆者の方の苦しみを学んだ参加者から感想が寄せられました。



世界大会に初参加した
千葉土建千葉支部の依田和也さん

参加人数の多さに圧倒

初日の開会総会の会場に入ると人数の多さに驚きました。何より若い世代が多いこと、なかには小学生が原水爆反対の服を着て参加されていたのには驚きました。

開会総会には、世界 20 ヶ国 100 名近い海外代表の方々が参加されていて 原水爆禁止に対する熱い思いを感じました。また一歳の時に被爆した藤森氏の「この地獄をどの国の誰にも絶対に再現させてはならない」という強い思いを感じました。

閉会総会は各国代表、政党代表、北海道高校生団 被爆者等々のスピーチがあり、なかでも、世界唯一の戦争被爆国の日本が核禁止条約に署名していないとの話はとても残念ではありません。アメリカの核の傘、核抑止力などが理由の一つのようです。また、北海道の高校生のスピーチの中で日本人は原水爆に対して関心が薄いのでは？との話がありました。わたしは今回このような形で参加するまで 確かに意識することなくすごしてしま

た。これを読んでいる方もそんな方がいるのではないのでしょうか。一度参加されることをオススメ致します。

分科会に参加して

分科会は、岩国基地調査行動に参加しました。米軍、自衛隊、民間飛行場が一緒になった基地で、視察の最中にも ANA の飛行機が着陸していました。岩国基地は米軍基地として国内 3 位の規模を誇る基

地にまで拡大したそうです。我々視察団は北側にあるレーダー付近の基地の外から視察しましたが、広大な基地の全容はととも見渡せませんでした。基地には 25 機位の戦闘機が見えました。格納庫の中にはさらに沢山の戦闘機があるそうで、なかには核爆弾を搭載できる機種もあるそうです。また以前はこの基地に、核爆弾を組み立てる作業場があったそうです。

基地を後にした我々は米軍宿舎をバスの中から見ました。1 棟 4 戸の 2 階建てメゾネット専用庭付きで、近くにある自衛隊官舎とは比べ物になりません。今なお国の予算で建設の進む岩国基地はすでに 8000 億円もの税金が使われているそうです。

参加した経験を

開会総会、分科会、閉会総会と三日間参加して感じたことは、若い世代が多く参加しているなということです。被爆者の声、諸外国の声、専門家の声など、多くを聞き、学んだ若者たちが集まるこの原水爆禁止世界大会はさらに拡大すると感じました、また、われわれ千葉土建代表団 25 名中 10 名が青年部員であったことは誇らしく思います。

今回参加して学んだ事は、参加する前の私のような関心の薄い人たちや、若者たちに話していかなくてもならないと感じました。話しをすることで少しでも興味を持ってもらえたらと思います。

また、この事は組合活動にも通ずるものがあると感じました。一人でも多くの方に興味を持ってもらい、組合活動に参加し団結し大きなものに立ち向かう。原水爆にも組合活動にも、まずは話すことから始めたいと思いました。

県内の青年がバスツアーで 原水禁世界大会に参加

民主青年同盟千葉県委員会は、原水禁世界大会に千葉から多くの青年の参加を呼びかけるため『ピース☆バス☆チバ』という往復バスツアーを企画しました。ツアーの参加は 14 人で、うち約半分が初参加。年代も中学生から高校生、学生、社会人ととも幅広い年齢層の構成でした。



バス内で感想交流

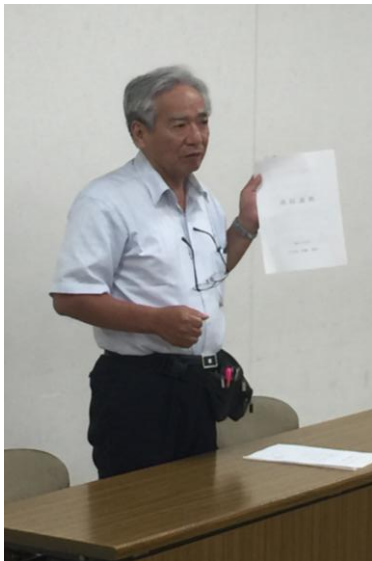
出発直後の自己紹介交流では、参加者から「家族に紹介されてきた」「学校で政治や平和のことについて話ができないので、全国からくる青年と交流したい」など、多彩な思いが語られました。

世界大会を終えて帰りのバスでは、この間の核兵器禁止条約と米朝首脳会談の実現という、ここ数年の平和の激変と、それを実現させた市民社会のたしかな役割を実感したという感想が出されました。特に、韓国代表の「キャンドル革命はこれまで韓国で起きた革命とは違い、はじめて血を流さなかった革命だ。韓国の人々はその事を誇りに感じている」という発言に、多くの参加者が「キャンドル革命の発言にはげまされた」「日本でもどうしたら政権交代を実現できるか考えたい」という感想を持ちました。

民主青年同盟千葉県委員会委員長の吉田隆寛さんは「世界大会で学んだことや、今回の企画で得られた手ごたえを力に、また千葉で核兵器廃絶運動の発展に向けて頑張りたいと思います」と話しました。

市長の公約を実現させよう

市川市で要求実現への交流会



各組織の要求を出し合う

『7・30 労働者市民の要求実現への交流会』が7月30日、市川市文化会館において、市川浦安地区労働組合連合会の呼びかけで開催されました。交流会には、地域の労働組合や市民、市議会議員などが参加しました。

交流会では、中陣春夫副議長が「村越ひろたみ市長へ提出した要望書を実現させるために、より多くの労働組合や市民の声を行政にとどけよう」と訴えました。

政党からは、日本共産党高坂進市議会議員が市川議会報告をおこないました。報告では「村越市長が誕生した初の議会で、保育園待機児童解消のために900人の定員増に向けた具体化が進んでいることや、公民館利用料の値下げなど、公約に掲げた課題が着実に進んでいる。まだまだ課題は山積していて、これから市民が市長にいかにか公約を守らせるかがポイント」と発言し、ともに協力してがんばろうと訴えました。

その後は市川市に対して、全教市川の佐藤さんが、教員の働き方や全教室へのエアコン設置について、千葉土

建市川支部の田中さんが、公契約条例の制定について、福祉保育労の山口さんが、待機児童の解消と子ども命と安全、発達を保障する保育環境の実現について、それぞれ要望をしました。

最後に、田中長義議長が「労働者市民の力で、村越市長を実現させた。だけどこれがゴールではない。私たちと交わした要望書の諸課題実現に向けて、私たちが行政をしっかり監視し、行政とも協力・共同して住みやすい市川市を実現しよう」とまとめ、交流会を終了しました。

波濤

沖縄戦を体験し、間もなく 90 歳になる今でも辺野古に座り込む

島袋文子さんは、東京での講演で「戦争はダメ。基地はどこにも置いてはいけません」と静かに語った。穏やかな語りと笑顔の奥に、家族を「犬死に」させてしまった、とても語り切れない悔しさがある▼沖縄の尊厳と誇りを守り抜くために、日本政府に抗い続けた翁長さんが亡くなった。力尽きる最後の最後まで、まさに命をかけて「辺野古に新基地はつくらせない」と信念を貫き通した▼島袋おばあは、笑顔で「基地を止めない限り死ねない。みんなで止めましょうね。力を貸してください沖縄に」と訴える▼9月県知事選へ、沖縄の仲間へ全ての力を！



【2面】

キーワードは「誰のため」

千葉労連来年度方針のポイント

千葉労連は9月2日、第30回定期大会を開催します。大会議案書を基に、組合員が活発な議論によって補強し、2018年度はさらに団結を強めて前に進む方針確立に向けて、議案のキーワードとポイントを示します。

議案のキーワードと4つのポイント

2017年度方針に沿った構成で4つの項目に整理しました。1つは憲法を含む平和の課題。2つは働き方改革を含む労働条件の課題。3つは県政を含む国民的課題。4つは運動体としての組織拡大の課題です。1年どんなことがあって、私たちはどう行動したか。

千葉労連は憲法・平和の課題では、全国市民アクションが呼びかけた3000万署名の取組の推進など。労働条件の課題では、雇用共同アクションが提起する行動に結集し、県内では他団体とともに、働き方改革一括法案の危険性を訴える宣伝行動など。国民的課題では、市民と野党の共闘を広げ、市川市長選挙に統一候補を擁立して勝利するなど。組織拡大の課題では、全労連の組織拡大4ヶ年計画の取り組みを進め、組織建設委員の選出や総がかり推進委員の選出を進めてきました。

要求を実現させるための政治闘争

情勢と行動いずれも「誰のため」を常に考えてみて下さい。「改憲」「オスプレイ」「高度プロフェッショナル制度」「時間外労働上限規制」「TPP11」「原発」「年金」などなど。いったい誰のためか。財界とアメリカ経済を支えるためにおこなわれてきたものです。

そして何より異常なのは安倍首相の国政私物化と、それがまかり通る政治です。日本は法治国家であるのに権力者は無法に無法を重ねる独裁政治を進めています。独裁政治を可能とする小選挙区による政治家支配。内閣府人事局による官僚支配。財界主導の諮問会議による政治支配。

これらを考えたとき、職場内の闘いだけでは生活は改善できませんし、政治に対するあきらめや無関心は支配勢力の悪行を認め、さらに労働条件や日常生活を悪化させることに手を貸すこととなります。したがって2018年度の方針のポイントは「要求実現のための政治闘争」と言えます。政治闘争を要求実現の組合運動の大きな柱と考え、方針を提案しています。韓国のローソク革命が政権交代を実現させ民主化が進んでいるように、スケールメリットを活かし世論を大きく味方に付ける取り組みを進め、政権交代を果たす足掛かりを築くことが、正常な国会運営と悪法廃止・改正を実現することにつながる。要求を実現する上で、政党とも協力・共同の関係を強めていきます。

千葉労連は引き続き、憲法を守るために3000万署名の推進、働き方改革一括法を職場に持ち込ませない運動、社会保障の向上や、消費税10%への引き上げを中止させるための学習と宣伝行動、全労連の組織拡大新4ヶ年計画を具体化し、強く大きな組織作りに取り組んでいきます。

労働者としての身分と立ち位置からものごとを見る。その視点に立って1年間を振り返って総括し、新たなスタートを切りたいと思っています。来年度も千葉労連への結集と運動への協力をお願いします。

労働相談一ヶ月

～成田空港労働者の働き方～

Q 成田空港で働いています。私は、求人広告を見て応募し、面接を受けて労働条件を聞き、働くことにしました。ところが新しいプロジェクトを立ち上げるということで、面接で説明のあった仕事とは全く違う仕事をすることになりました。会社に、契約内容が違うことを話し、時給などの改善と仕事の明確化を求めました。会社は全く対応しないので、退職することになりましたが、1ヶ月前に通告しなければいけないのでしょうか。

A 成田空港で働いている人の大半は、派遣や請負、契約社員など非正規労働者です。相談者に仕事の指揮命令系統について聞くと、派遣なのか請負なのか、契約社員なのかなど、雇用形態に対する認識はなく、指示された職場で働いていたそうです。そもそも応募した会社が派遣会社なのか、事業を請け負っている会社なのかもあいまいな様子でした。話の内容から派遣労働が想定され、労働契約書の内容と異なる業務を命じるのであれば、派遣元と再度労働条件について検討がおこなわれるべきで、相談者が会社に話し合いを求めることは当然です。

退職については、労働契約に違反する仕事を命じることは、労働契約違反にあたることから、労働条件の一方的不利益変更にあたり、労働者の権利として退職することが出来ること、その場合は 1 ヶ月前に通知することにこだわる必要はないことを説明しました。

他にも成田空港で働く労働者からの相談が数件来ています。トラブルの内容を聞くと、共通していることは、空港内の業務を請け負う会社が多数あり、派遣や請負、重層下請けなど、労働者を使い勝手の良い形で適宜使い分けていることです。

【中林】